

土砂災害について

土砂災害の種類

土砂災害とは、大雨などにより、山やがけが崩れたり、水とまじりあった土や石が川から一気に流下する等、市民等の生命または身体に被害が生じる自然の災害です。主なものに「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」、「土石流」、「地すべり」があります。

東金市では急傾斜地の崩壊が土砂災害警戒区域等として指定されています。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震による影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象が、がけ崩れです。



土石流

山腹、川底の砂や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象が土石流です。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象が地すべりです。



東金市の土砂災害警戒区域等

東金市では土砂災害警戒区域等として急傾斜地の崩壊が指定されています。なお、土砂災害警戒区域等とは土砂災害から市民等の生命または身体を守るため、土砂災害防止法により指定される区域で、指定された区域では、以下の措置がとられます。東金市における土砂災害警戒区域等は千葉県ホームページで公開しており、次のアドレスで確認できます。常に最新情報を確認するようにしましょう。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/higashikana.html>

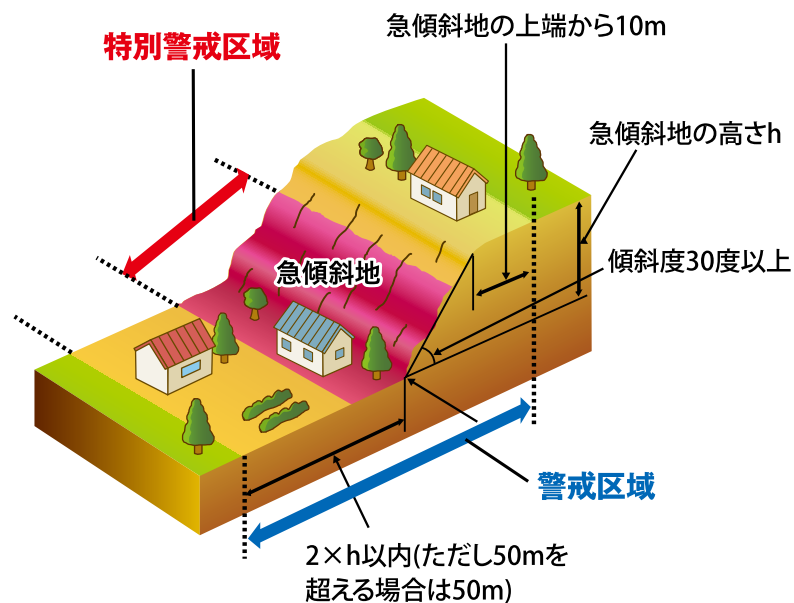
土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民等の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に危険が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限、建築物の構造物規制などが行われます。

急傾斜地の崩壊の場合



土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに千葉県と銚子地方気象台が共同で発表する防災情報です。

土砂災害警戒情報が発表された時は「**いつ土砂災害が起きてもおかしくない**」という非常に危険な状態です。

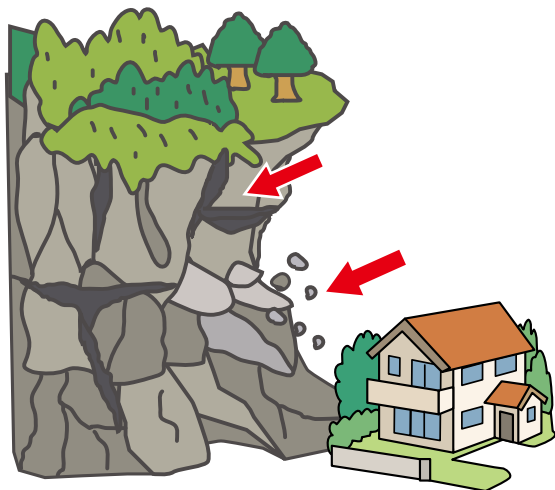
土砂災害警戒情報が発表されたら

- 危険箇所（山やがけ、斜面等）からすぐに離れましょう。
- 東金市が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を見逃さないようにしましょう。
- 特に、自宅付近にがけなどがある場合は、早めの避難を心がけましょう。



がけ崩れについて

中にしみ込んだ水分が土の中にたまり、雨や地震をきっかけに一気に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れはいきなり発生するので、人家付近で起こると逃げるのが難しくなります。



こんな所が危険です !!

- がけの上部がせり出しているところ。
- がけにひび割れが生じているところ。

前兆現象

- 湧水が急に増えたり急に止まる。急ににごる。
- がけの途中から水がふきだす。
- がけから小石がパラパラ落ちてきた時

命を守る最低限の行動

土砂災害から身を守るためには**明るいうちの早めの避難**が重要です。東金市からの避難勧告・指示がなくとも、前兆現象が認められるなど危険を感じたら、明るいうちの早めの避難を心掛けてください。

危険が差し迫った状況では、屋外への避難行動は避け、**安全確保を第一**に考えてください。

行動例

- 自宅や自宅近隣の頑丈な建物の2階以上へ移動（**垂直避難**）
- 山側の部屋にいるのであれば、山から離れた部屋へ移動（**水平避難**）

